

私たちから手をさしのべ、 地域全体を視野に入れた子育てを行います



「子どもと一緒にいるからできない」ではなく
「子どもと一緒にいるからこそできること」

育児に対する悩み・不安の対応

子育てをしていて「こんなときどうしたらいいの?」「困ったな…」と思うことはありませんか?

園長をはじめ、主任や保育士、栄養士など全職員が相談に応じています。また、育児本の貸し出しも行っています。

より「地域に親しまれ、信頼される園」を目指し、親身になって対応していきます。



おうちの保育メモ

悩まなくても大丈夫。
子育ての輪を広げましょう!

現代は核家族化が進み、相談できる相手が減ってきています。育児を負担に思ってしまう保護者の方々も、ひとりで悩まなくても大丈夫です! 私たちが、気軽に話し相手になり、相談にのりますので、是非ご相談ください。

そして、保護者の方が自ら積極的に子育ての輪を広げていくことで、子育ての悩みを気軽に近くの人に相談できる社会にしていきたいと思います。

ひとりでも多くの子どもたちの幸せのために

家庭、地域の変化と共に育児不安が広がる中、本園では育児相談を実施しています。

家庭で育児をしている保護者の悩みにふれ、在園児だけでなく、もっと地域の家庭に目を向けて育児支援をしていきます。また、私たちは、仕事も育児も両立できるような環境づくりを応援し、全ての人たちの幸せを願って、社会全体を視野に入れた子育てを行っています。保護者のみなさんと一緒に子どもたちの成長を喜び合い、「地域に親しまれ、信頼される園」を目指します。



| 周囲の園・小学校とも連携をとって

久留米市では幼稚園・保育園・こども園・小学校との情報交換が積極的に行われています。子どもが他園から本園に編入してくるとき、小学校に上がるときなど、子どもがスムーズに次の生活に移れるよう、コミュニケーションを密に図っています。校区の小学校とは、お互い行き来し交流を深めています。

| 障がい児保育

申し込み時に園で面接を行い、集団保育が可能なお子さんを受け入れています。

なお、久留米市で行っている再面接を受けられると、加配保育士を配置し、総合的な発達を援助し、集団の中で統合保育を行います。

| 未就園児への子育て支援

園庭開放

家庭で保育をしている親子が「おうち」から1歩踏み出し、同年代の友だちにふれ、本園の施設や遊具を利用し、親子のスキンシップやコミュニケーションを図りながら、子どもたちは楽しい遊びの経験を重ねます。また、気軽に育児相談ができる場にもなります。



子どもを取り巻く人的環境を整え 職員自身も成長を実感



魅力あふれる人間集団づくりを目指して 一人ひとりの能力の向上に磨きをかけています

親恩・礼節・友愛、思いやりの心が本園の基本

明るく大きな声での「おはようございます」から、園の1日は始まります。人に対しては礼儀正しく、柔和に、親切に、仕事に対しては使命感、責任感を持って取り組んでいます。

また、日々の生活の中で子どもたちは保育者の後姿を見て様々なことを学び取っていきます。保育者は常に幸せで明るく、「親恩・礼節・友愛」「思いやりの心」の精神を念頭において、日々の仕事に向き合っていきたいと思えます。



登降園時間は「出会いの時間」

おうちの保育メモ

登降園の時間は、保護者の方との大切な出会いの時間だと感じています。朝、保護者のみなさんは、子どもを託して仕事に出る不安、生活・仕事の疲れや緊張を背負いつつ、1日が始まるのかもしれない。夕方のお迎え時、心の中では「子どもは今日1日どうだったろうか」と心配していることと思います。私たち保育者は、そんなお母さんやお父さんの気持ちを受け入れて、コミュニケーションを取っていきたくと思っています。

人として、保育者として、魅力的な人間であるために

子どもが園でくつろげるのは、甘えたり、あるいはひとりでホッとするといった、ゆとりある時間・空間が確保されているからです。気持ちを温かく受け入れる環境、それは共感してくれる保育者の存在が大きく影響しています。

それ故に、保育者の姿勢や態度、立ち居振る舞いは、人間形成の基礎を築く上で1番大切な時期でもある幼年期の子どもの行動に、大きな影響を与えてしまいます。

子どもは保育者に導かれて家庭からもうひとつ大きな社会に出ていき、生活圏を広げていくのです。私たちは、人として、保育者として、魅力的な人間になれるよう、また、自らが大きな器を持てるよう成長するために、日々努力をしています。



継続的に園外研修に参加

専門的能力
の向上

定期的に外部講師による園外での研修会に参加し、保育についての知識の向上を図っています。また、職員一人ひとりが保育の充実のために常に意識を高めています。

- ・子どもを受容する接し方とはどうあるべきか
- ・表現活動の自由を保障しながら、個々の可能性をどう導き出すか
- ・基本的生活習慣を身に付けていくための援助 など

社会人・組織人として 適切な行動に努める

社会的能力
の向上

あいさつ・言葉づかい・笑顔・他者への配慮など、社会人として正しくあるべき行動ができるよう、社会人としての振る舞いを意識し、改善しています。

- ・元気で素敵な「あいさつ」
- ・言葉づかいの基礎を学び、互いに指摘し合う
- ・振る舞い、しぐさ、身だしなみに気を付ける など



人間的な 魅力にあふれた人を目指す

人間的な能力
の向上

職員一人ひとりが、常に学びの姿勢・謙虚な態度で、仕事に真剣に取り組んでいます。中でも、映画や読書・美術鑑賞などで自らの感性を磨いたり、笑顔を忘れず、前向きに「生きる」をモットーにするなど、それぞれが自分の目標を掲げ、目標の達成に向けて毎日を楽しそうに過ごそう心掛けています。



より多くの人たちのために 期待される役割を全うするために



掲げるビジョンを基に 今日も1歩しっかりと進みます

子育てのプロ集団への更なる成長のために

私たちは、より良い未来に向かって成長していくために、将来目標の設定をし、全職員で共有化をしています。

卒園児が成人するまで見守り続ける

卒園していった子どもたちと関わりを持ち続け、地域との繋がりを強めます。



ビジョン実現のために

例えば10年後、私たちの暮らしはどのような変化を遂げているのでしょうか。この国は、この街は、もっと住み良い、子どもに優しい社会になっていくでしょうか…。

私たちは、自らの手で絶対に社会を良くしていくという強い意志を持ち、専門知識と人間的魅力を磨きながら、「子育てのプロ」であり続けます。また、保護者のみなさんと手を取り合い、地域社会と協力し、何よりも子どもの健やかな生活をつくり上げていきたいと思っておりますので、ご協力お願い致します。

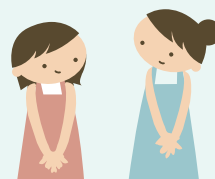
おうちの保育メモ

私たちはこれからも成長し、尊い使命を果たし続けます

本園では、全職員が拠り所としている「基本理念」「信条」を具体的に実現するための道筋として「10年間の運営ビジョン」を描き、その歩みを始めています。

ビジョンの立案には、ただ訪れる環境の変化を受け入れるだけではなく、私たち自身が、より良い未来のために積極的に使命を果たしていくという思いを持つことが求められます。

子どもたちとの関係はどうあるべきか、保護者や地域社会との繋がりはどのように広げていくかなど、多様なテーマについてのビジョンを描き、全職員の大きな目標として設定しています。



本園の10年後は…

自分たち自身が
満足できる保育を
日々実践

子育ての
専門家集団として
地域で広く
認知されている

家庭で仕事をしながら
子育てをする方との契約など
園独自のシステムを
各種確立

卒園していった
子どもたちが
成人するまで関わり
見守っている

地域の多くの方が集える
様々な「ふれ合いの場」を
提供している

地域の方々の ふれ合いの場となるために

本園では、気軽集える場を提供し、行事や活動を通して地域の方々を招待する機会を設け、親しみの持てる園にしていきます。

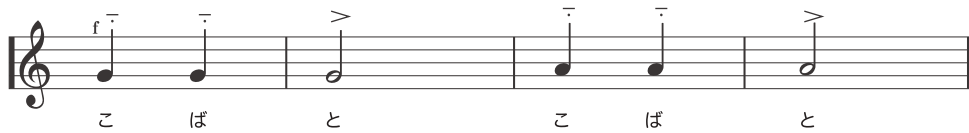
地球環境に優しい 保育施設となる為に

環境問題を考えて取り組んでいくため、具体的な目標を掲げ、実行していきます。

子鳩保育園の歌

作詞：矢野洋三
作曲：中村八大

Moderato(楽しく元気に)



一 ぼっぼの鳩さん こんにちは

にここに お陽さま うれしいな

こぎましょ ぶらんこ 一、二、三

お花も咲いてる 揺れている

子鳩 子鳩 僕と私の保育園

二 じゃんけん 石けり かくれんぼ

雀も蝶々も 寄っといで

今日も楽しく 遊びましょう

父さん 母さん ありがとう

子鳩 子鳩 僕と私の保育園

三 歌って 踊って 輪になって

緑の芝生に 転がれば

蜻蛉とんぼもお空で 宙がえり

それゆけトンネル 滑り台

子鳩 子鳩 僕と私の保育園

四 高良のお山に 虹が出た

仲よし こよしで 肩くんで

夢いっぱいの この道を

行こうよ 元気で どこまでも

子鳩 子鳩 僕と私の保育園

みんなの愛で子どもは育つ

皆さまようこそ本園へいらっしゃいました。

私たちは皆さまを明るく歓迎致します。

子どもは家庭の**かけがえのない存在**であると同時に、社会の宝であり、みんなに大切にされることが保障されなければなりません。

子どもにどのように育てほしいか、希望や願いを明らかにし、家庭と園と地域で、力を合わせて、心を込めて育てていきましょう。

子どもは生まれてから家庭と園で連続的に生活し、**体験を通して**段階的に心身共に発達していきます。「みんなちがってみんないい」の心で一人ひとりを大切に見守り、みんなの愛で**心豊かに**育てていきたいものです。あわてず、あせらず、ゆっくりと関わっていきましょう。

園長 塚本直子

沿革	昭和51年12月 3日	法人認可
	昭和52年 4月 1日	保育園開設 乳児保育の実施
	昭和58年11月 1日	障がい児保育の実施
	平成 2年 4月 1日	延長保育の実施
	平成 9年 3月31日	大規模改修工事
	平成10年 4月 1日	特別保育事業の実施
	平成14年 4月 1日	3・4・5歳児縦割保育の実施
	平成18年 5月 1日	送迎用駐車場借上
	平成19年10月 1日	発達障がい早期総合支援モデル事業(当年度のみ)
	平成20年 5月 1日	生ゴミリサイクルの実施
	平成 21 年度	幼保小合同研修会研究園(単年度)
	平成22年 7月28日	研究発表
	平成22年 3月20日	大規模改修工事
	平成22年 4月 1日	食育研修モデル園(単年度)
	平成22年10月22日	優良社会福祉事業施設として受章
	平成22年10月24日	リサイクル活動推進団体表彰受章





社会福祉法人 国分福祉会
 子鳩保育園

〒830-0037

福岡県久留米市諏訪野町美田1615-1

TEL 0942-22-0105 FAX 0942-21-8663

URL <http://kobato.information.jp>